

平成 30 年 6 月 1 日

平成 30 年度 「新入社員 意識調査」

足利銀行（頭取 松下 正直）のシンクタンクである「あしぎん総合研究所」（社長 伊沢 正吉）は、「平成 30 年度新入社員意識調査」を行いましたので、その結果を別紙のとおり発表いたします。今回のポイントは下記のとおりです。

記

超売り手市場！仕事にも楽観ムード 新しいキャリア観の台頭

栃木県の企業や自治体の今年の新入社員は、売り手市場だったことから就職先には「知名度の高さ」や「休日の多さ」を重視。「夏より前」に内定をもらい、「4社」「5社」から内定を得たという人がそれぞれ過去最高となった。そうした就職活動の経験からか、新入社員は仕事についても楽観ムード。出世への興味も薄く、仕事と友人では友人優先派が過去最高とライフ重視。すでに転職を考えている新人も約3割おり、キャリア観が変わりつつあるようだ。

<ポイント>

1. 会社情報は「インターネット」、半数近くが「インターンシップ」へ

- ◇ 会社情報の収集方法は「インターネット」が最も多く 62.0%。「学校」は2位。「会社説明会・企業合同説明会」には 39.2%が行っており、「友人・先輩」も 10.4%と高い。
- ◇ インターンシップをした人は 42.5%。その内の4人に1人がインターンシップ先に就職。

2. 内定は「前年夏より前」が過去最高。秋までに7割以上が内定確保

- ◇ 新卒者の内定企業数は「1社」「2社」「3社」の順で例年同様だが、「1社のみ」はこれまでで最も少なく、「4社」「5社」がそれぞれ過去最高となった。

3. 会社を選ぶ基準では「知名度の高さ」「休日が多い」が過去最高に

- ◇ 採用難から初任給を上げる企業が多いが、「給料」14.2%よりも「休日」23.7%で、ワークライフバランス重視。

4. 景気の良さや売り手市場の就職活動を経て、仕事にも楽観ムード

- ◇ 就職にあたり不安に感じていることでは、例年高い「仕事についていけるか」「生活環境や習慣の変化に対応できるか」が過去最低に。「会社の業績の悪化」を心配する人も少ない。

5. せっかく採用しても・・・

- ◇ すでに転職を考える人も約3割。出世については「平社員のみでいい」「係長ぐらい」が上昇傾向。仕事と友人の約束が重なったら「なるべく友人優先」「いつでも友人優先」が過去最高になるなど、キャリア観が変わりつつあるようだ。

以上

本件に関するお問い合わせ先：(株)あしぎん総合研究所 野内（やない） TEL028-908-6126

平成 30 年度 「新入社員 意識調査」
超売り手市場！仕事にも楽観ムード 新しいキャリア観の台頭

栃木県の企業や自治体（一部県外含む）の今年の新入社員は、売り手市場だったことから就職先には「知名度の高さ」や「休日の多さ」を重視。「夏より前」に内定をもらい、「4 社」「5 社」から内定を得たという人がそれぞれ過去最高となった。そうした就職活動の経験から新入社員は仕事についても楽観ムード。出世への興味も薄く、仕事と友人では友人優先派が過去最高とライフ重視。すでに転職を考えている新人も約 3 割おり、キャリア観が変わりつつある。企業としてはこうしたキャリア観の変化なども踏まえた上で、新卒採用にどう取り組み、入社した新入社員にどう向き合いどう育成していくかが大きな課題となりそうだ。

<ポイント>

1. 会社情報は「インターネット」、半数近くが「インターンシップ」へ

- ◇ 会社情報の収集方法は「インターネット」が最も多く 62.0%。「学校」は 2 位。「会社説明会・企業合同説明会」には 39.2%が行っており、「友人・先輩」も 10.4%と高いことから、会社情報の提供には説明会の開催やOB訪問の受け入れなども有効とみられる。
- ◇ インターンシップをした人は 42.5%。その内の 4 人に 1 人がインターンシップ先に就職。

2. 内定は「前年夏より前」が過去最高。秋までに 7 割以上が内定確保

- ◇ 新卒者の内定企業数は「1 社」「2 社」「3 社」の順で例年同様だが、「1 社のみ」はこれまでで最も少なく、「4 社」「5 社」がそれぞれ過去最高となった。企業の人手不足を受けて昨年度以上に学生優位の「売り手市場」となった様子がみられた。

3. 会社を選ぶ基準では「知名度の高さ」「休日が多い」が過去最高に

- ◇ 採用難から初任給を上げる企業が多いが、「給料」14.2%よりも「休日」23.7%で、ワークライフバランス重視。

4. 景気の良さや売り手市場の就職活動を経て、仕事にも楽観ムード

- ◇ 就職にあたり不安に感じていることでは、例年高い「仕事についていけるか」「生活環境や習慣の変化に対応できるか」が過去最低に。また、「会社の業績の悪化」を心配する人もこれまでで最も少なくなった。これらの傾向は男性に顕著だった。

5. せっかく採用しても・・・

- ◇ すでに転職を考える人も約 3 割。出世については「平社員のままでいい」「係長ぐらい」が上昇傾向。仕事と友人の約束が重なったら「なるべく友人優先」「いつでも友人優先」が過去最高になるなど、キャリア観が変わりつつあるようだ。

<調査概要> ※本調査は平成 22 年度から実施しているものである。

- (1) 調査期間 : 平成 30 年 3 月 23 日～4 月 25 日
- (2) 調査対象 : あしぎん新入社員セミナー受講生、新入社員向け出張研修受講生
(セミナー開催回数 栃木県 8 回、群馬県 1 回、埼玉県 1 回、出張研修 5 回)
- (3) 有効回答数 : 686 名 (回答率 100.0%)

内 訳 : 男性 362 名、女性 324 名

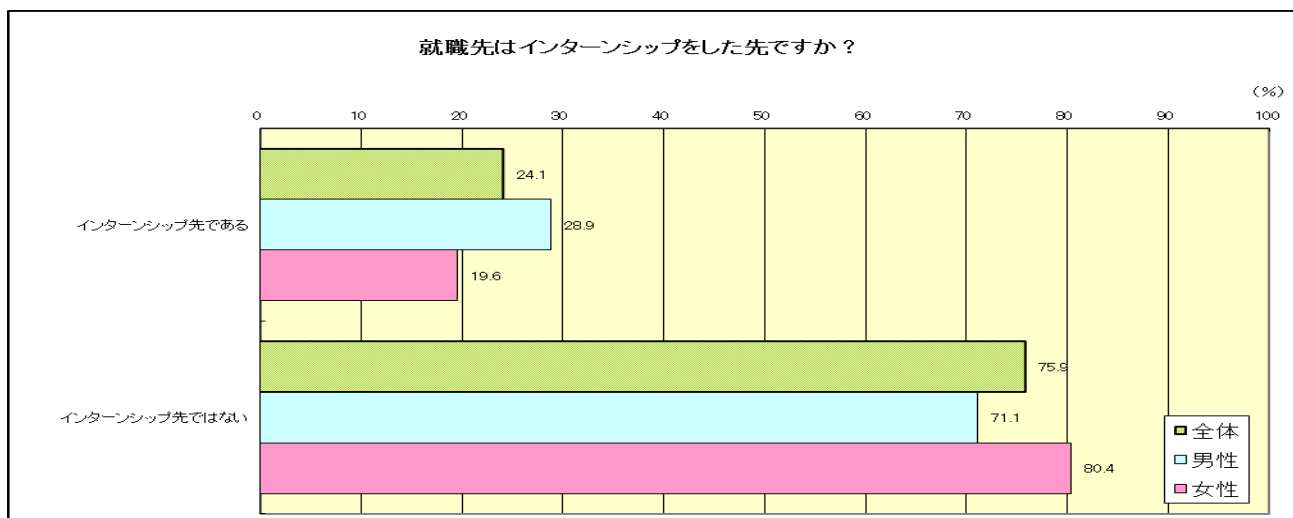
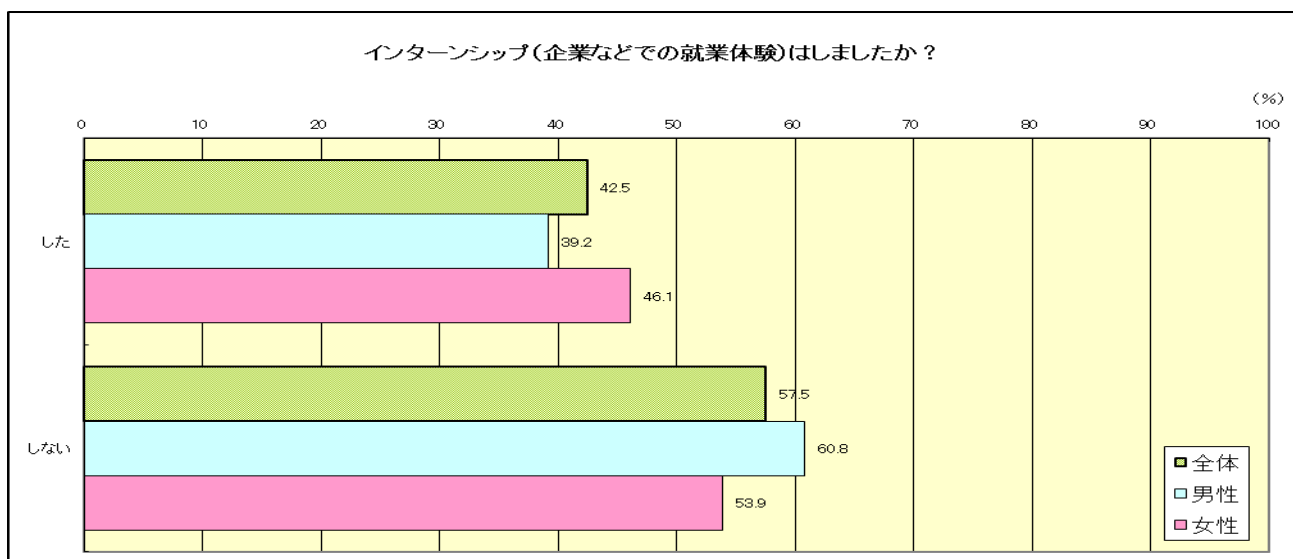
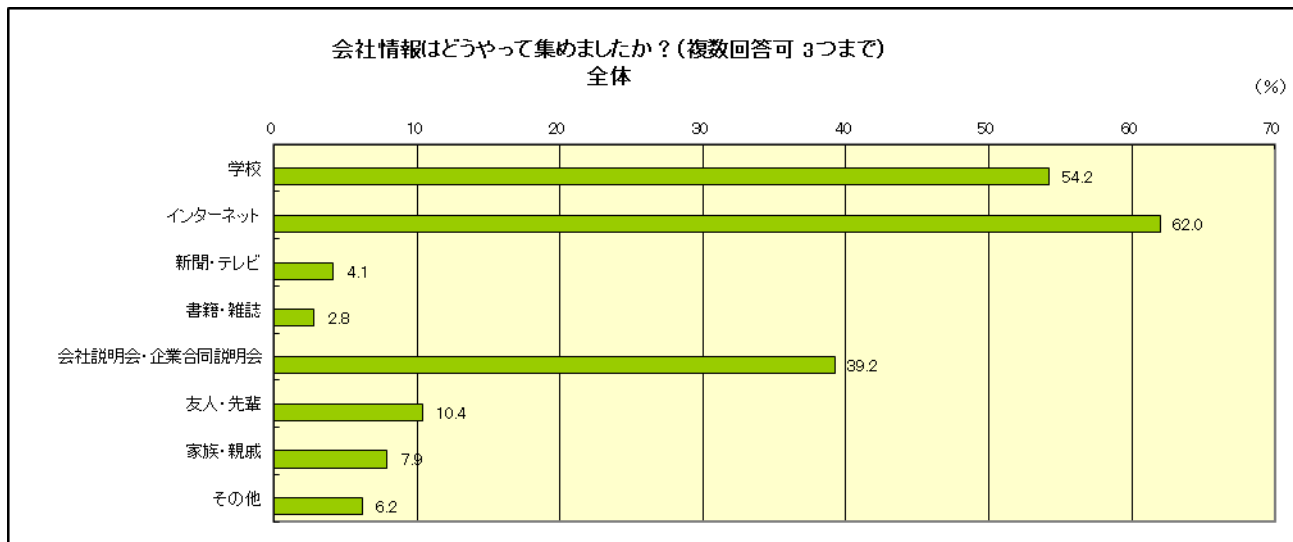
大学・大学院 39.6%、高専・短大・専門学校 14.5%

高校 27.2%、中途採用・その他 18.6%

1. 会社情報の収集方法について（新設）

会社情報の収集方法は、男女ともに「インターネット」が最も多く 62.0%、次いで「学校」54.2%、「会社説明会・企業合同説明会」39.2%の順。「友人・先輩」も 10.4%となった。

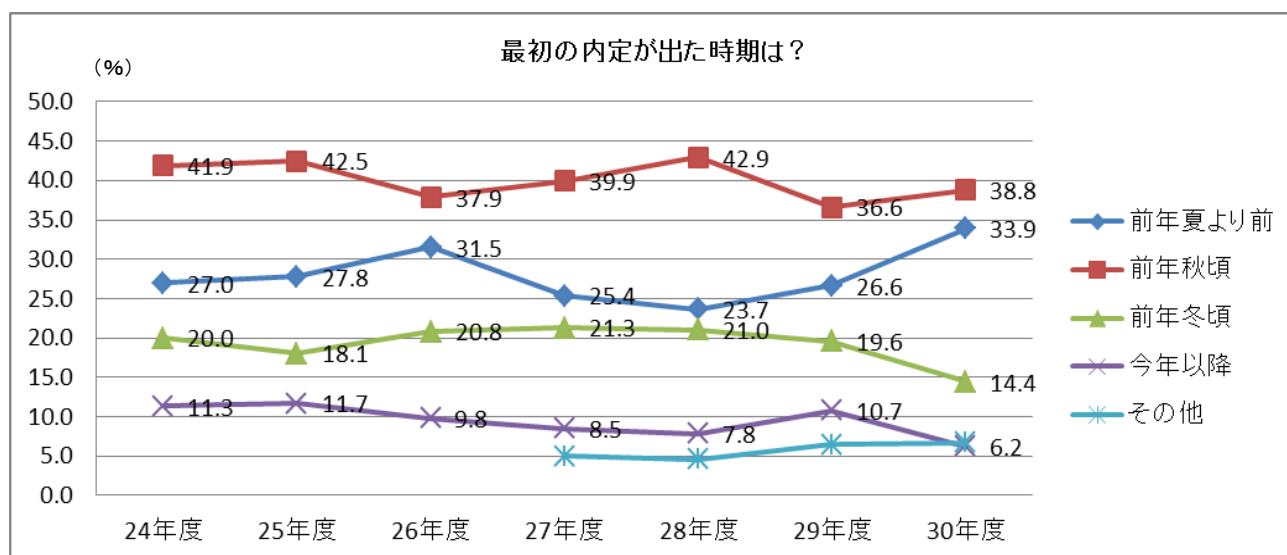
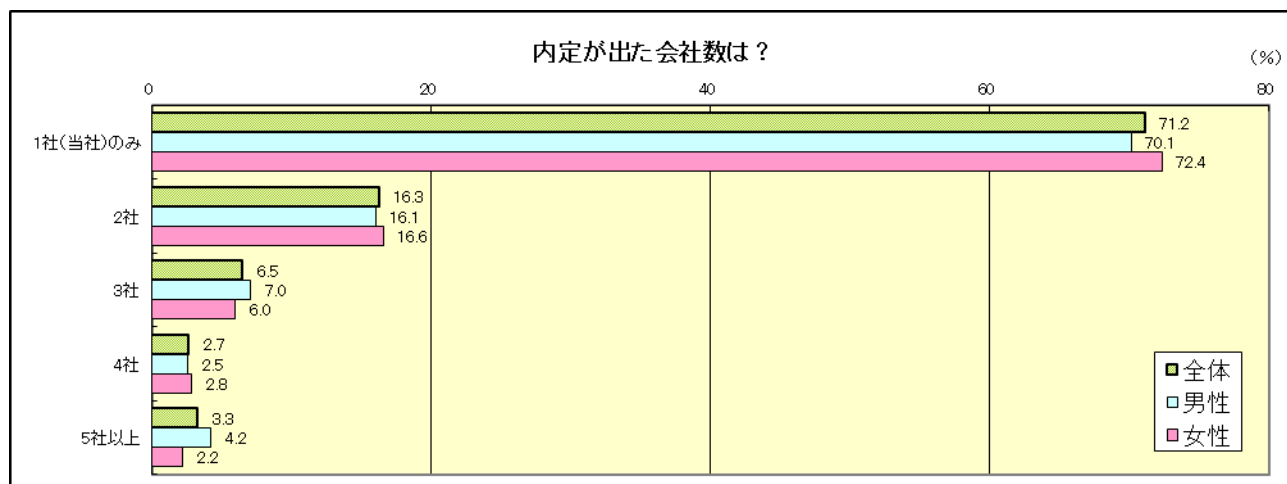
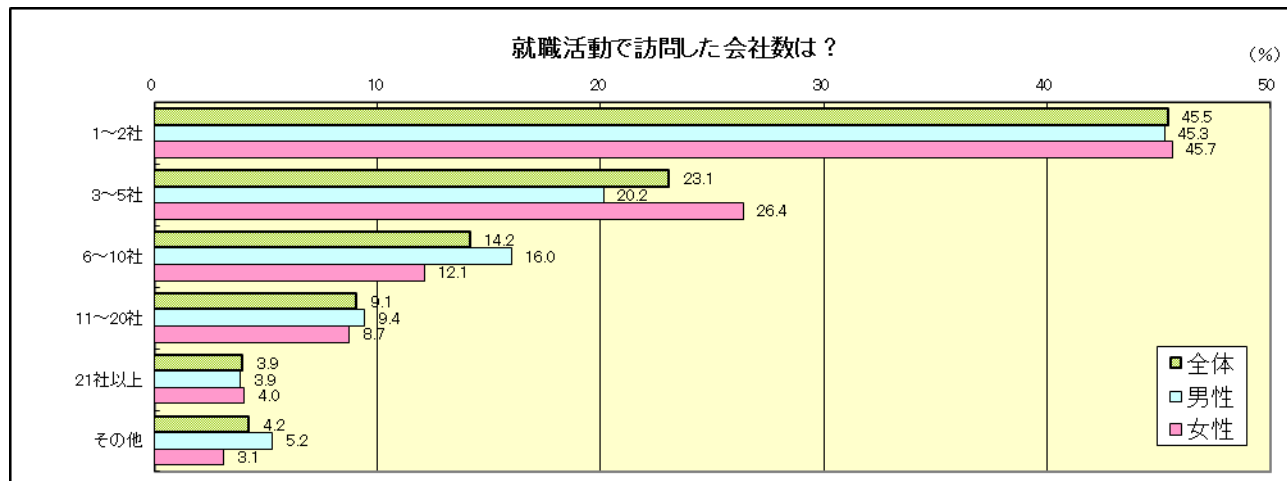
企業などで就業体験をするインターンシップについては、インターンシップを「した」が 42.5%と半数近い。その内の 4 人に 1 人がインターンシップ先に就職をしている（24.1%）。インターンシップ先に就職を決めた割合は男性 28.9%、女性 19.6%で、女性のほうが見る目が厳しい面もありそうだ。



2. 就職活動の状況について

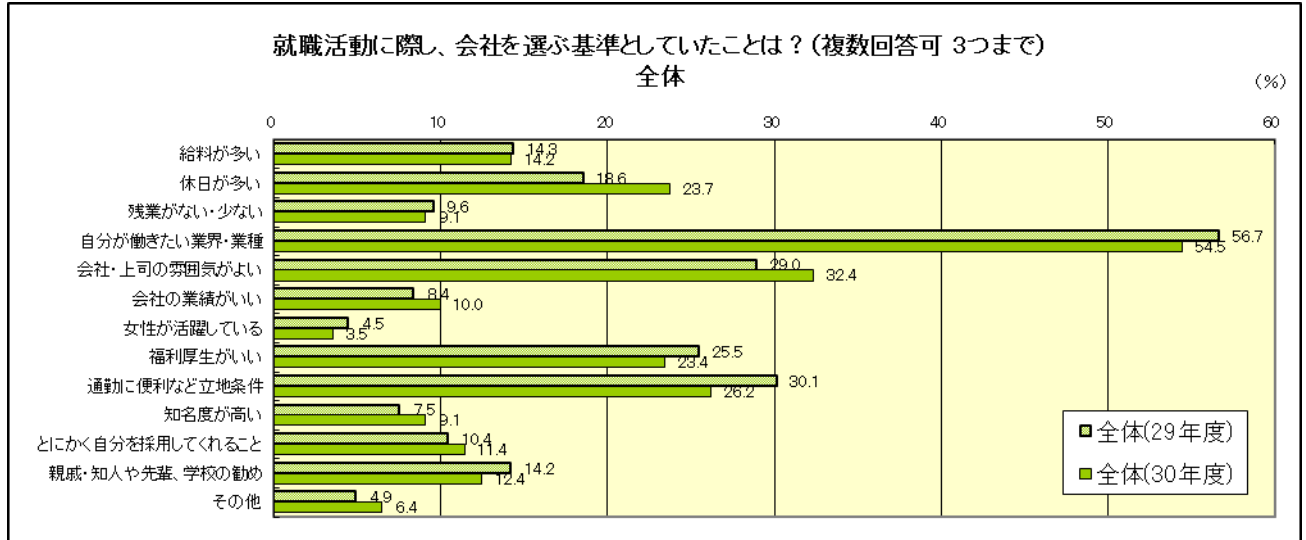
新卒者の訪問企業数（会社説明会を含む）は、例年同様「1～2社」（45.5%）、「3～5社」（23.1%）、「6～10社」（14.2%）の順。内定企業数も「1社（当社）のみ」「2社」「3社」の順は変わらないが、「1社のみ」は昨年度に続き過去最低の71.2%。一方、「4社」「5社」はそれぞれ過去最高で合わせて6.0%。昨年を超える売り手市場だった様子。

内定が最初に出た時期は「前年秋頃」が最も多く、次いで「前年夏より前」「前年冬頃」の順。順位は例年同様で変わらないが、「前年夏より前」は過去最高の33.9%で、「前年秋頃」と合わせても過去最高の72.7%となった。



3. 就職活動に際し、会社を選ぶ基準としていたことは？

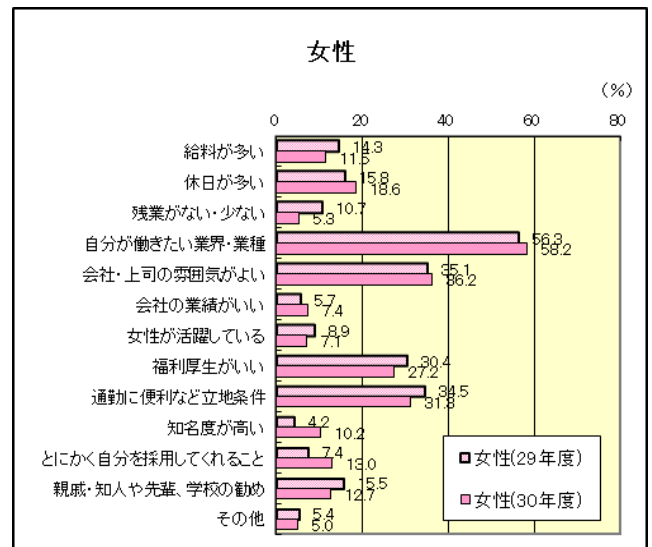
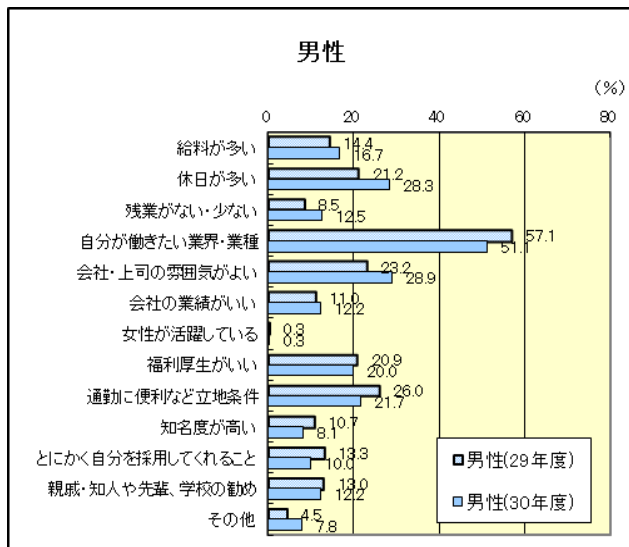
「自分が働きたい業界・業種」54.5%、「会社・上司の雰囲気がよい」32.4%、「通勤に便利など立地条件」26.2%の順となったが、1位の「自分が働きたい業界・業種」は23年度をピークに下がり続け過去最低。代わりに「知名度が高い」9.1%、「休日が多い」23.7%がそれぞれ過去最高となった。「給料が多い」14.2%、「残業がない・少ない」9.1%よりも「休日が多い」23.7%を望んでいることがわかる。



就職活動に際し、会社を選ぶ基準としていたことは？(複数回答可 3つまで) 全体

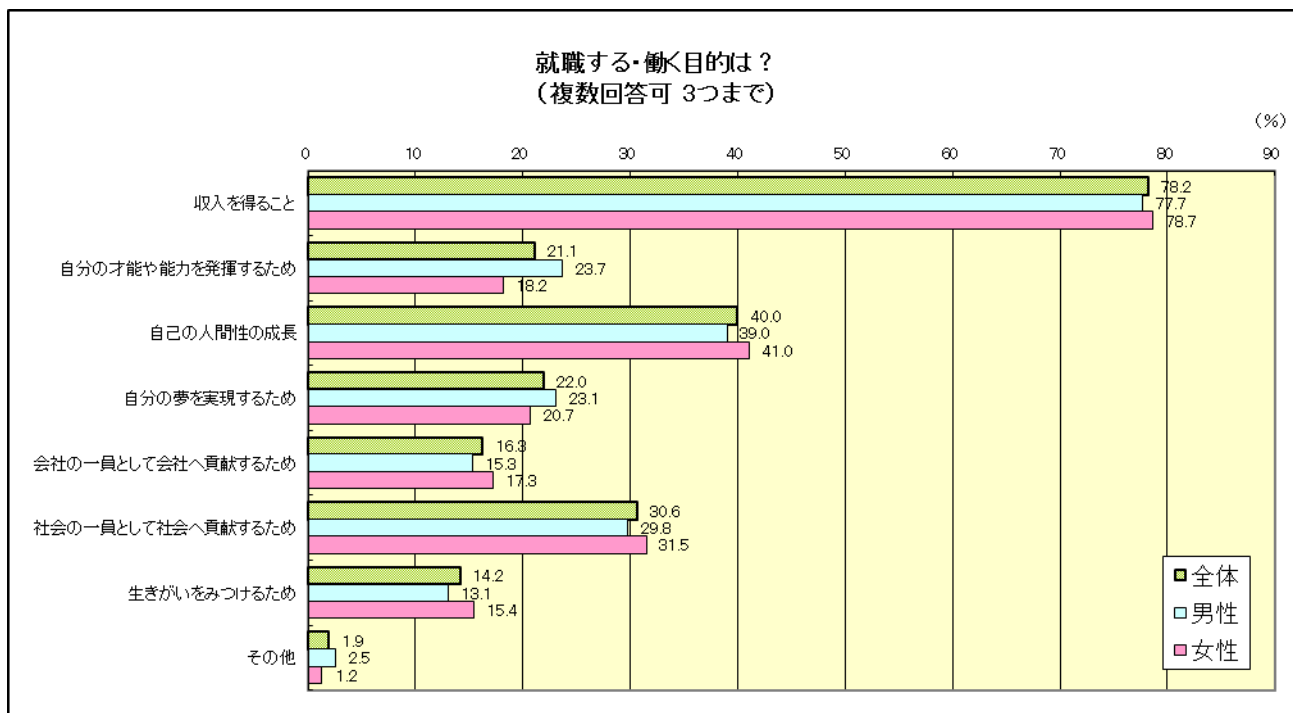
単位：%

年度	給料が多い	休日が多い	残業がない・少ない(前年追加)	自分が働きたい業界・業種	会社・上司の雰囲気がよい	会社の業績がいい	女性が活躍している(前年追加)	福利厚生がいい	通勤に便利など立地条件	知名度が高い	とにかく自分を採用してくれること	親戚・知人や先輩、学校の勧め	その他
22年度	17.7	14.8		65.1	35.5	10.3		19.5	35.1	5.8	16.2	14.4	3.9
23年度	9.1	11.1		70.0	36.5	12.3		21.2	35.8	7.1	15.6	14.9	3.5
24年度	16.5	12.1		69.2	36.1	9.1		18.3	32.1	5.0	17.8	9.2	4.0
25年度	13.7	12.5		68.0	29.8	10.5		20.2	31.9	9.0	14.0	12.2	3.3
26年度	16.9	15.4		65.0	33.0	10.4		25.2	33.1	7.9	13.3	12.0	3.2
27年度	13.9	17.5		65.9	30.0	8.8		24.7	30.8	6.9	12.4	12.8	4.1
28年度	16.3	18.6		62.1	32.8	8.2		29.2	26.6	9.0	12.3	10.7	4.2
29年度	14.3	18.6	9.6	56.7	29.0	8.4	4.5	25.5	30.1	7.5	10.4	14.2	4.9
30年度	14.2	23.7	9.1	54.5	32.4	10.0	3.5	23.4	26.2	9.1	11.4	12.4	6.4



4. 就職する・働く目的は？

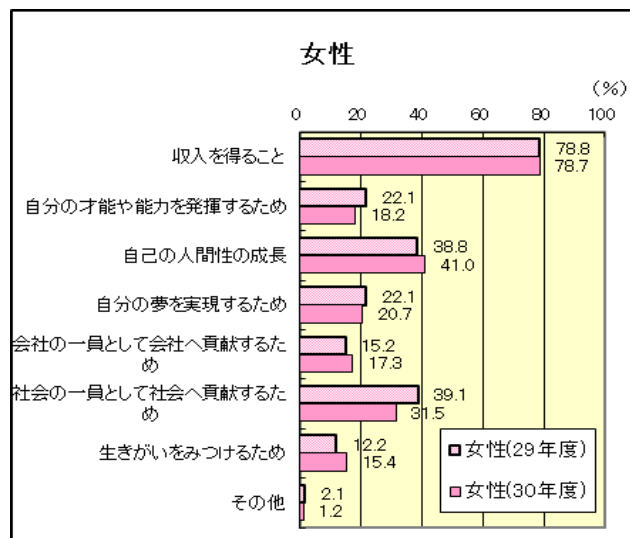
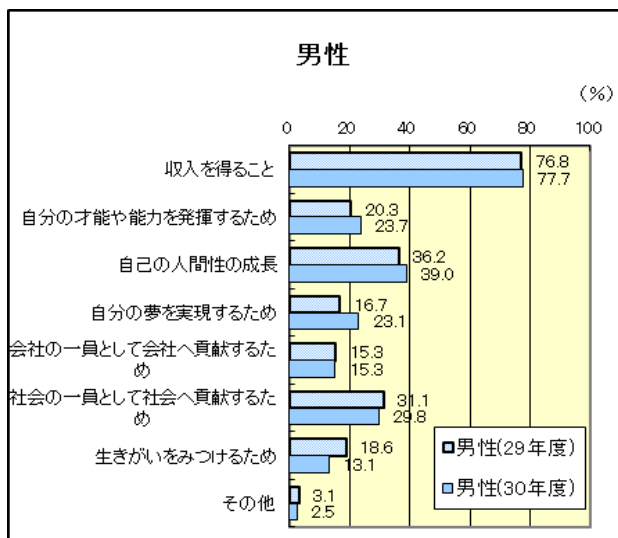
1位は「収入を得ること」で過去最高の78.2%。次いで「自己の人間性の成長」40.0%、「社会の一員として社会へ貢献するため」30.6%で例年同様の結果となった。



就職する・働く目的は？(複数回答可 3つまで) 全体

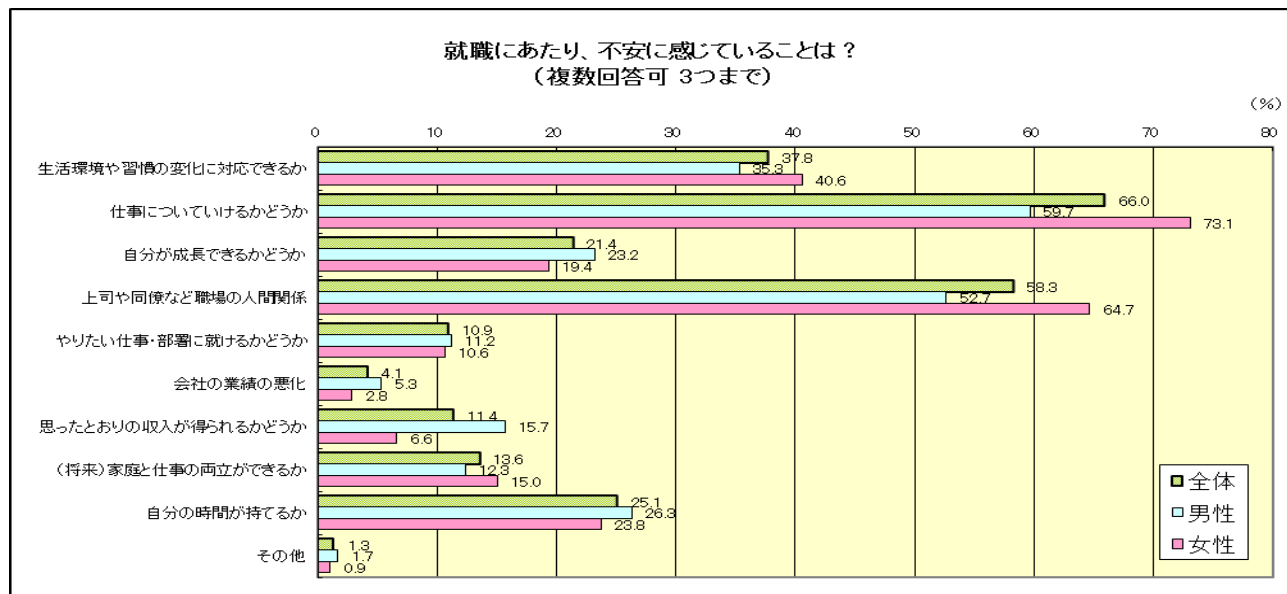
単位：%

年度	収入を得ること	自分の才能や能力を発揮するため	自己の人間性の成長	自分の夢を実現するため	会社の一員として会社へ貢献するため	社会の一員として社会へ貢献するため	生きがいを見つけるため	その他
平成22年度	78.0	22.0	50.1	22.6	19.1	33.3	16.8	3.5
平成23年度	69.5	26.2	53.1	20.4	17.6	40.3	18.4	3.8
平成24年度	70.6	25.0	52.2	26.8	16.9	39.3	19.1	3.5
平成25年度	68.7	24.9	48.2	24.7	16.9	36.4	19.2	2.9
平成26年度	76.2	23.5	42.7	26.9	16.1	33.6	16.1	2.8
平成27年度	73.5	25.9	44.2	22.3	16.1	35.6	18.7	2.5
平成28年度	77.2	22.4	38.7	19.4	14.4	33.4	16.3	3.1
平成29年度	77.8	21.2	37.4	19.3	15.2	35.0	15.5	2.6
平成30年度	78.2	21.1	40.0	22.0	16.3	30.6	14.2	1.9

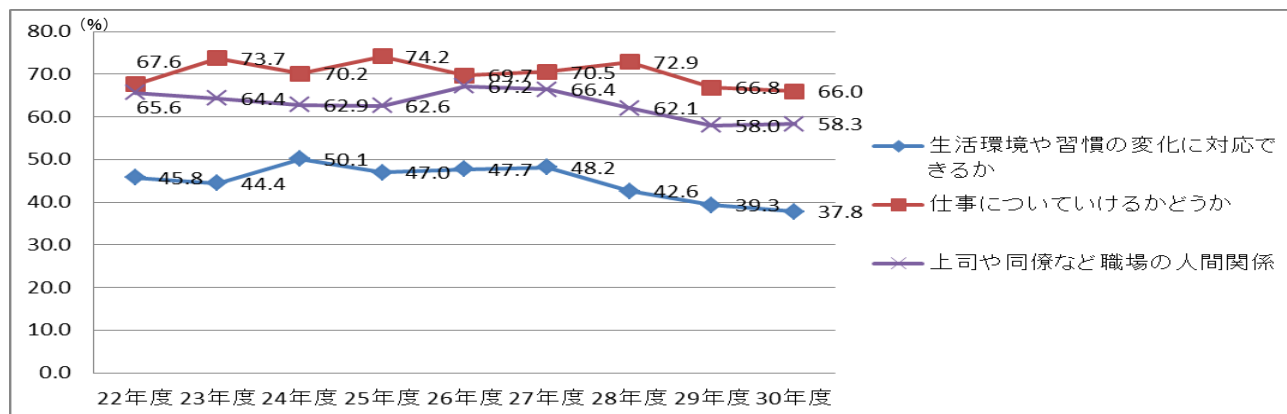


5. 就職にあたり、不安に感じていることは？

例年同様「仕事についていけるかどうか」66.0%が最も多く、次いで「上司や同僚など職場の人間関係」58.3%、「生活環境や習慣の変化に対応できるか」37.8%の順。順位は例年と変わらないが、1位の「仕事についていけるか」と3位の「変化に対応できるか」は過去最低。「会社の業績の悪化」4.1%もこれまでで最も少なく、景気の良さや売り手市場の就職活動を反映してか楽観ムード。



就職にあたり、不安に感じていることは？ 全体上位3位(複数回答可 3つまで)



この傾向は男性に顕著で(下の表)、男性は「仕事についていけるか」「変化に対応できるか」「職場の人間関係」「会社の業績悪化」がそれぞれ過去最低となり、代わりに「思った通りの収入が得られるか」15.7%が過去最高。その他、「自分が成長できるか」「やりたい仕事に就けるか」「自分の時間が持てるか」が前年より増えた。

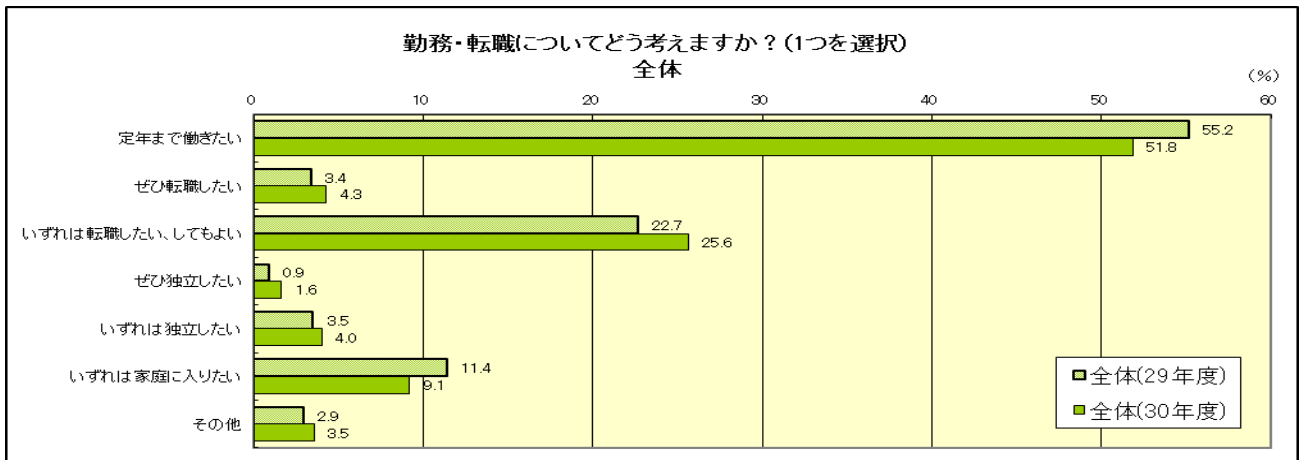
《男性のみ》就職にあたり、不安に感じていることは？ (複数回答可 3つまで)

単位: %

年度	生活環境や習慣の変化に対応できるか	仕事についていけるかどうか	自分が成長できるかどうか	上司や同僚など職場の人間関係	やりたい仕事・部署に就けるかどうか	会社の業績の悪化	思ったとおりの収入が得られるかどうか	(将来)家庭と仕事の両立ができるか(前年追加)	自分の時間が持てるか(前年追加)	その他
22年度	42.1	67.4	26.7	59.3	13.2	11.4	14.3			4.0
23年度	41.7	69.7	33.9	58.3	8.3	9.2	14.2			2.3
24年度	50.8	65.9	30.5	61.3	11.5	6.2	9.8			2.6
25年度	44.2	70.2	28.2	56.9	12.5	6.5	11.4			3.0
26年度	42.0	68.1	29.9	65.5	11.3	10.4	14.2			0.6
27年度	44.7	67.4	24.2	65.3	13.3	6.6	11.8			2.1
28年度	41.1	68.9	26.9	58.0	13.3	7.4	14.5			0.9
29年度	39.1	63.4	20.6	53.4	10.0	5.4	11.4	13.1	22.9	0.9
30年度	35.3	59.7	23.2	52.7	11.2	5.3	15.7	12.3	26.3	1.7

6. 勤務・転職等についてどう考えるか？

「定年まで働きたい」が最も多く51.8%だが、2位の「いずれは転職したい、してもよい」と3位の「ぜひ転職したい」を合わせると29.9%に上る。これは調査の始まった22年度に次ぐ2番目の多さで、3割がすでに転職を希望している。

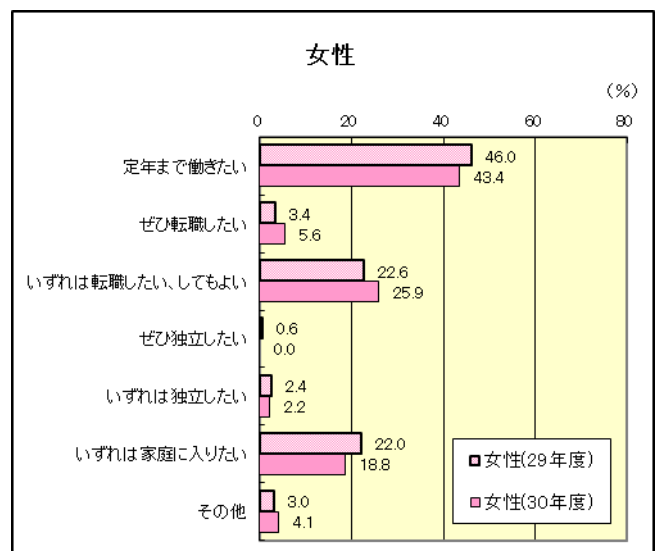
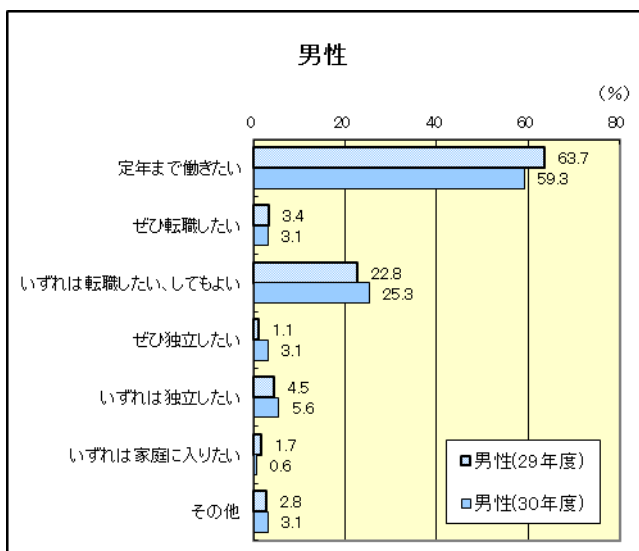


勤務・転職についてどう考えますか？(1つを選択) 全体

単位: %

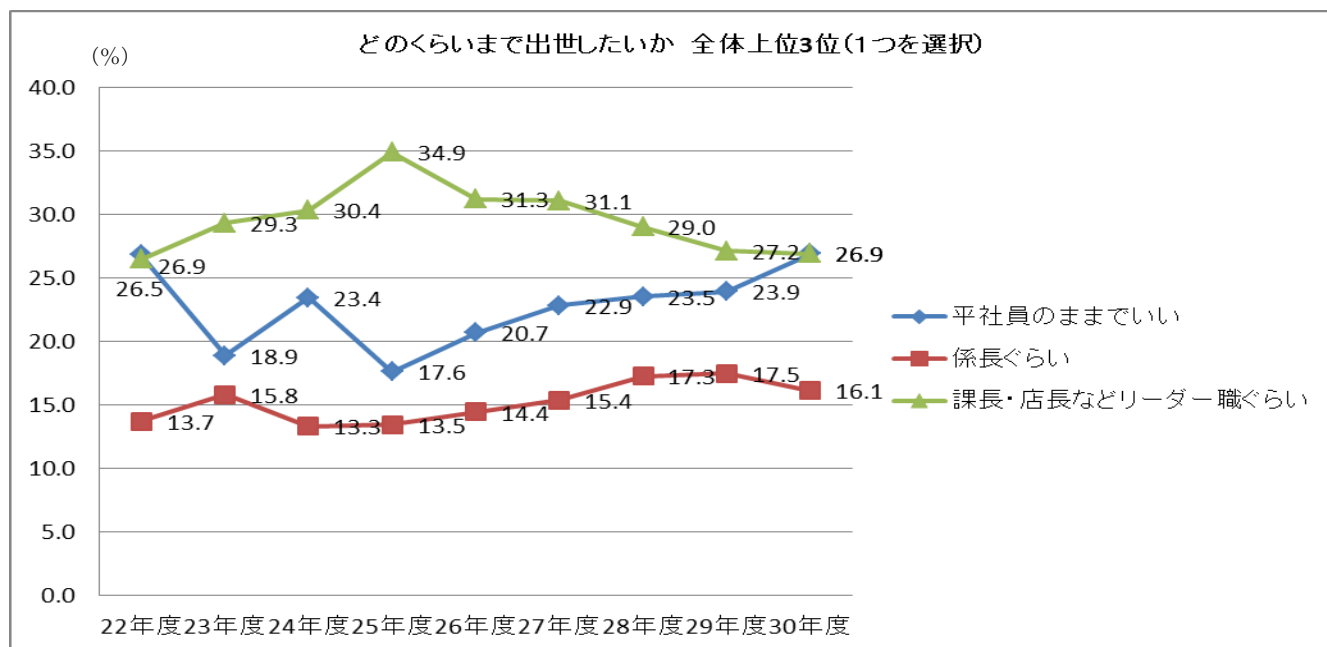
年度	定年まで働きたい	ぜひ転職したい	いずれは転職したい、してもよい	ぜひ独立したい	いずれは独立したい	いずれは家庭に入りたい	その他
22年度	46.2	3.1	27.3	1.6	4.5	14.5	2.9
23年度	57.8	2.0	18.9	1.3	3.5	11.9	4.8
24年度	48.9	2.9	24.2	2.4	4.2	15.1	2.9
25年度	54.1	3.0	22.4	1.9	3.9	11.5	3.3
26年度	52.6	2.8	21.3	1.6	4.3	14.5	2.9
27年度	52.5	2.5	23.8	0.6	4.0	13.8	2.9
28年度	54.8	3.9	21.6	1.1	4.9	10.8	3.0
29年度	55.2	3.4	22.7	0.9	3.5	11.4	2.9
30年度	51.8	4.3	25.6	1.6	4.0	9.1	3.5

「いずれは家庭に入りたい」と答えた女性は過去最低の18.8%となり、初めて2割を切った。転職願望は男性と変わらないが、「ぜひ独立したい」という女性は7年ぶりに0%となった。



7. どのくらいまで出世したいか？

「平社員のまま」が25年度以来少しずつ増え、同年度以来逆に減っている「課長・店長等のリーダー職」と同率の26.9%となり1位となった。次いで「係長」16.1%。男性は「リーダー職」「部長」「役員以上」、女性は「平社員」「リーダー職」「係長」の順で、男女別の順位はほぼ変わらないが、男性は「平社員のまま」が過去最高となった。



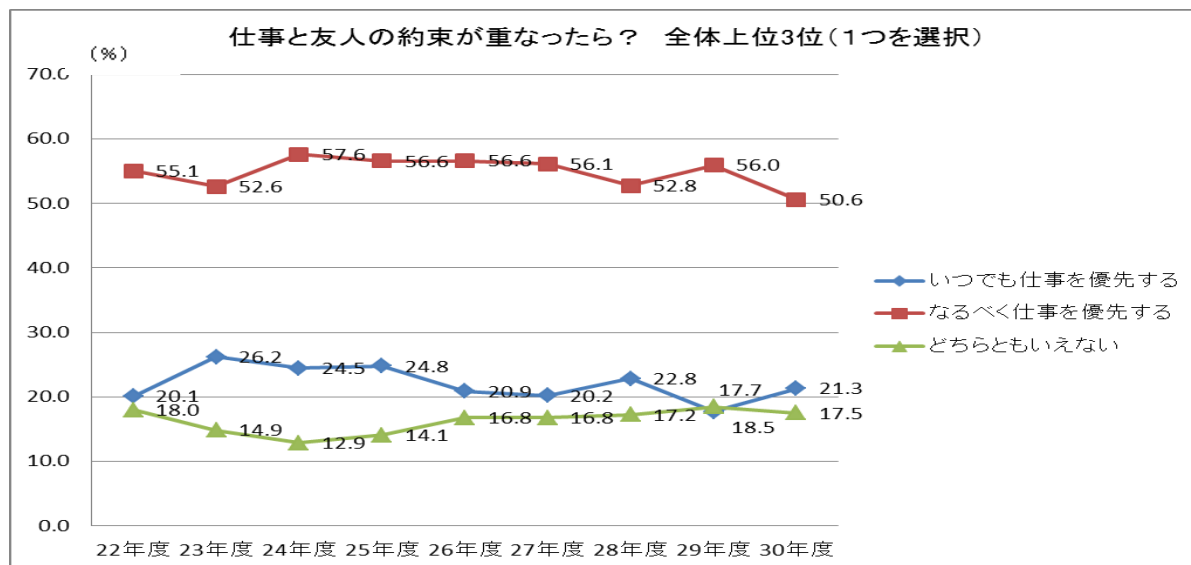
どのくらいまで出世したいか 全体(1つを選択)

単位：%

	年度	平社員のまま までいい	係長ぐらい	課長・店長 などリー ダー職ぐ らい	部長ぐらい	役員以上	その他
男性	平成22年度	9.5	10.6	30.4	20.1	22.0	7.3
	平成23年度	8.3	9.7	29.5	24.9	18.9	8.8
	平成24年度	9.1	8.1	35.9	22.7	18.1	5.8
	平成25年度	6.2	8.6	33.9	24.5	23.1	3.8
	平成26年度	9.3	5.1	32.2	28.2	18.1	7.1
	平成27年度	10.3	10.9	30.9	27.6	16.1	4.2
	平成28年度	10.1	14.3	32.7	21.1	16.4	5.4
	平成29年度	10.8	11.6	29.8	26.1	18.5	3.1
	平成30年度	12.5	12.8	30.1	21.2	19.2	4.2
女性	平成22年度	46.8	17.3	21.9	3.8	3.8	6.3
	平成23年度	32.0	23.4	29.1	6.3	2.3	6.9
	平成24年度	39.2	19.1	24.0	7.8	4.2	5.7
	平成25年度	31.6	19.4	36.2	4.6	2.6	5.6
	平成26年度	33.3	24.8	30.2	6.0	3.5	2.2
	平成27年度	36.7	20.3	31.3	5.3	3.3	3.0
	平成28年度	38.5	20.6	24.9	8.6	2.3	5.0
	平成29年度	38.0	23.7	24.3	4.9	4.3	4.9
	平成30年度	43.2	19.9	23.3	6.9	3.5	3.2

8. 仕事（残業など）と友人の約束（食事や飲み会など）が重なったらどうするか？

例年 1 位の「なるべく仕事を優先」は過去最低の 50.6%に。替わって「なるべく友人を優先」8.5%、「いつでも友人を優先」1.0%がそれぞれ過去最高となり、ワークライフバランス重視の傾向が強まっている。



仕事と友人の約束が重なったら？ 全体(1つを選択)

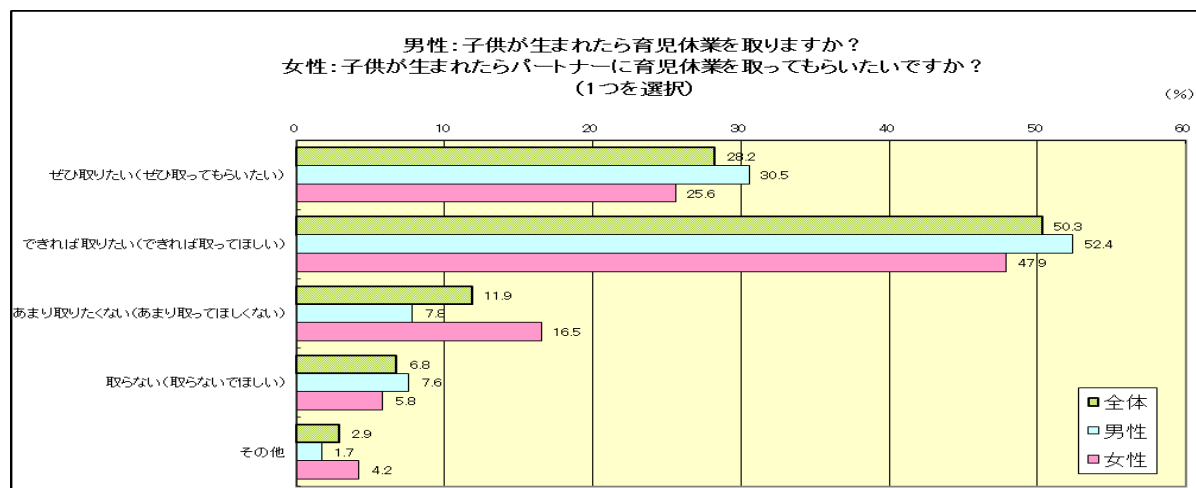
単位：%

年度	いつでも仕事を優先する	なるべく仕事を優先する	どちらともいえない	なるべく友人を優先する	いつでも友人を優先する	その他
22年度	20.1	55.1	18.0	4.7	0.2	2.0
23年度	26.2	52.6	14.9	3.3	0.3	2.8
24年度	24.5	57.6	12.9	3.5	0.3	1.2
25年度	24.8	56.6	14.1	3.7	0.0	0.9
26年度	20.9	56.6	16.8	4.4	0.3	1.0
27年度	20.2	56.1	16.8	4.4	0.2	2.4
28年度	22.8	52.8	17.2	4.7	0.6	1.9
29年度	17.7	56.0	18.5	6.7	0.3	0.9
30年度	21.3	50.6	17.5	8.5	1.0	1.0

9. 男性：子供が生まれたら育児休業を取りますか？

女性：子供が生まれたらパートナーに育児休業を取ってもらいたいですか？

「ぜひ取りたい（ぜひ取ってもらいたい）」「できれば取りたい（できれば取ってほしい）」を合わせると 78.5%で、前年同様約 8 割の新入社員が男性の育児休暇取得を希望している。この割合は男性のほうが女性より高く、男性 82.9%、女性 73.5%となった。「その他」には「結婚するつもりはない」「子供をつくる予定はない」とする記述があった。

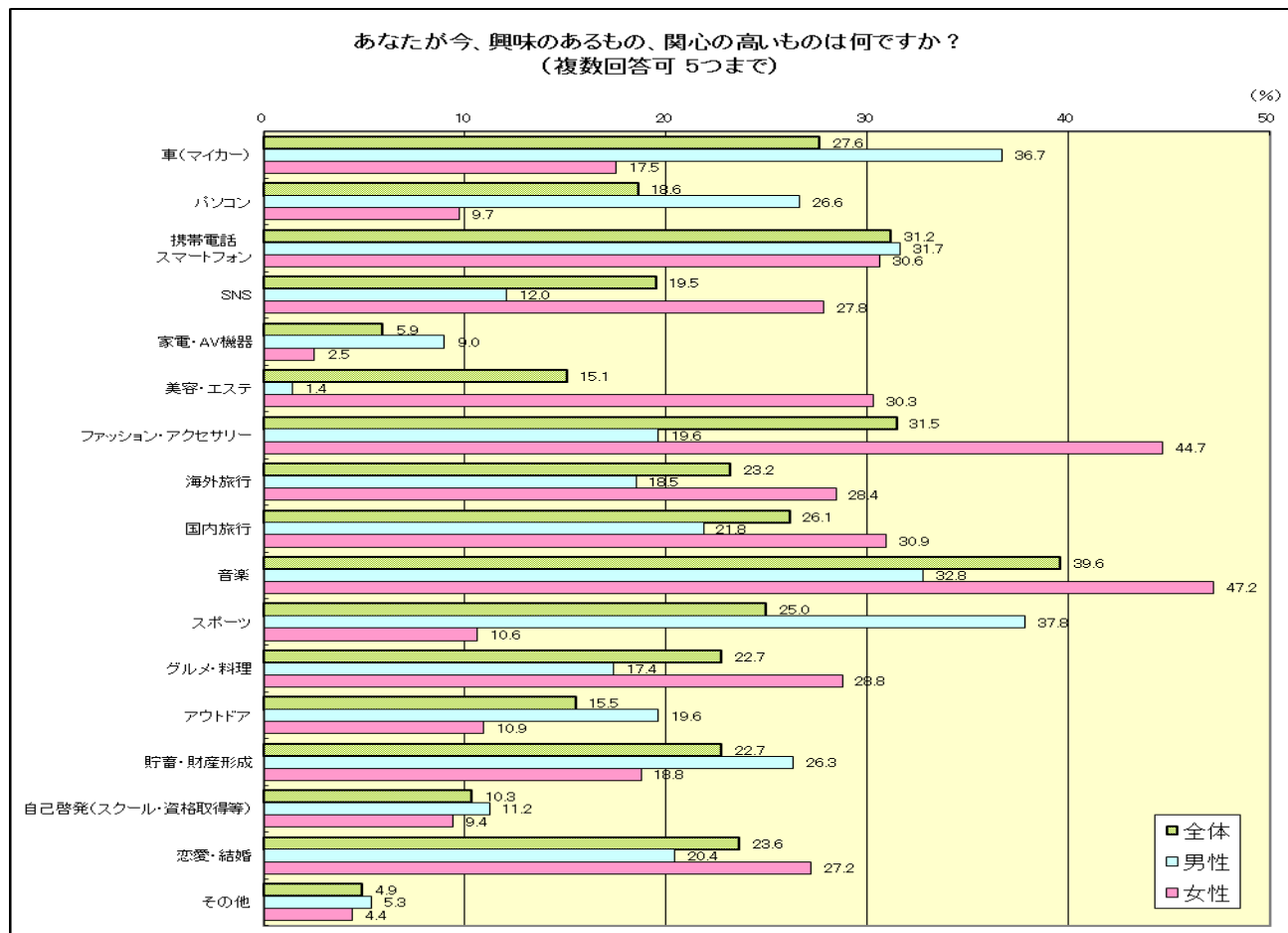


10. あなたが今、興味のあるもの、関心の高いものは何か？

全体では1位は「音楽」39.6%、次いで「ファッション・アクセサリ」31.5%、「携帯電話・スマートフォン」31.2%の順。「車（マイカー）」27.6%は27年度に首位の座を譲って以来3年間2位を維持していたが、今回とうとう4位に転落。5位は「国内旅行」で26.1%となった。

今回新たに加えた選択肢の「恋愛・結婚」は7位で23.6%。男女別でも男性8位、女性9位で、男女ともに恋愛より趣味という傾向だった。

男女別の順位は、男性は「スポーツ」37.8%、「車（マイカー）」36.7%、「音楽」32.8%の順。「貯蓄・財産形成」26.3%が過去最高となった。女性は「音楽」47.2%、「ファッション・アクセサリ」44.7%、「国内旅行」30.9%の順。



あなたが今、興味のあるもの、関心の高いものは何ですか？ 全体(複数回答可 5つまで)

単位(%)

年度	車(マイカー)	パソコン	携帯電話・スマートフォン	SNS	家電・AV機器	美容・エステ	ファッション・アクセサリ	海外旅行	国内旅行	音楽	スポーツ	グルメ・料理	アウトドア	貯蓄・財産形成	自己啓発(スクール・資格取得等)	恋愛・結婚	その他
平成22年度	38.1	28.6	11.8		13.4	12.4	36.5	15.0	13.2		26.0	15.4	8.1	19.9	16.0		7.3
平成23年度	35.1	30.3	15.2		14.1	12.1	32.8	16.4	16.2		26.0	17.2	8.6	17.7	14.6		5.1
平成24年度	41.7	27.1	28.6	16.3	12.3	18.3	32.3	19.0	22.7	40.3	29.6	25.7	12.6	21.3	20.7		5.2
平成25年度	42.8	25.9	29.4	16.2	11.8	14.4	32.2	22.9	21.8	39.6	29.4	22.2	11.3	19.7	14.7		2.6
平成26年度	39.1	21.2	26.1	15.7	9.8	12.0	33.5	22.8	23.3	37.9	27.8	24.9	14.8	20.8	15.7		5.1
平成27年度	36.2	22.9	29.9	16.3	7.8	15.3	32.8	20.3	26.6	39.7	27.8	26.1	11.9	21.7	13.6		6.2
平成28年度	34.5	23.5	30.8	17.3	8.7	13.7	30.3	21.3	27.5	40.7	27.2	26.3	12.6	25.3	11.2		5.9
平成29年度	33.4	21.2	32.5	20.4	7.3	14.8	25.8	23.6	26.8	41.7	27.1	26.8	15.2	24.5	11.9		4.2
平成30年度	27.6	18.6	31.2	19.5	5.9	15.1	31.5	23.2	26.1	39.6	25.0	22.7	15.5	22.7	10.3	23.6	4.9

以上